

## 日本保健医療社会学会ニューズレター (No.93) 2014/04/16

### 目次

1. 学会長からの御挨拶 (黒田浩一郎)
2. 第40回日本保健医療社会学会大会のご案内 (第3報) (朝倉京子)
3. 第41回 (2015年度) 大会開催日程・準備について (三井理事)
4. 第42回 (2016年度) 大会開催校について (黒田会長)
5. 園田賞 (学会奨励賞) 候補について (木下理事・進藤理事)
6. 編集委員会報告 (小澤理事・朝倉理事)
7. 定例研究会の報告、企画について(関東) (木下理事・清水理事)
8. 定例研究会の報告、企画について(関西) (進藤理事・林理事)
9. 看護・ケア研究部会 (三井理事)
10. 渉外国際活動 (金子理事)
11. 旧年度決算と来年度予算案について (三井理事)
12. 消費税増税に伴う論集の販売価格について (三井理事)
13. 次年度契約書案について (事務局)
14. 2014年度評議員会の議題について (黒田会長)
15. 入退会者の承認
16. その他

---

### 1. 学会長からの御挨拶 (黒田浩一郎)

1年前のニューズレターの「学会長就任のご挨拶」で、今期理事会の課題として、「学会理事会・事務局体制の強化」と「情報通信技術の発展に対応した、理事会から学会員あるいは学会外への情報発信とそれらとのあいだでのコミュニケーションの新しいやり方を取り入れ、これを迅速化・促進すること」を掲げました。今期理事会の任期も残すところあと1年となりましたが、引き続き、この2つの課題に取り組んでいく所存です。これまでのように「のろのろ」としたものになろうかとは思いますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、その他の理事会の課題としては、前期理事会から引き継いだ「園田基金」の活用があります。現在は、園田賞 (学会奨励賞) の経費に充当し、基金を取り崩しているというだけなので、これに加えて学会活動の活性化に資するような新たな活用法を探るという課題です。これについては、2014年度大会評議員会で、評議員の方々から意見聴取する予定です。今期理事会で新たに出てきた課題としては、大会準備・運営のあり方があります。これまで、大会長および大会引受校に部会編成・司会依頼から大会要旨集作成までを担当いただいていたのですが、これらを学会理事会が担当し、大会側の大幅な負担軽減を図るべきではないかという課題です。これについては、2015年度大会に際して、試験的に、理事会の関与・担当を大きくした大会準備・運営を試みる予定です。最後に、これは理事会の課題というよりも、学会のあり方というべきものですが、保健医療領域の社会学的な研究を行っている (大学院生を含めた) 研究者が学会に加入して、大会 (発表) や機関誌 (投稿) を研究成果の主要な発表の場とし、これを通して、

一方で、この分野の若手研究者の育成に資し、他方で、社会とくに政策や社会運動への影響力を発揮していくこと、さらに、そのような意義のある学会として（大学院生を含めた）研究者や社会から認知されることです。これについては、理事会の課題に具体化するために、2014年度大会評議員会で評議員の方々から意見聴取をする予定です。

## 2. 第40回日本保健医療社会学会大会のご案内（第3報）（朝倉京子）

2014年5月17日（土）、18日（日）に、仙台で第40回大会「保健医療福祉のヒューマンリソース」を開催いたします。東北地方での大会の開催は今回が初めてとなりますが、第40回という節目の大会を、仙台で開催させていただけることを大変嬉しく思っております。杜の都仙台の新緑が最も美しい季節です。事務局一同、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

### 2. 1 大会の開催概要

日時：2014年5月17日（土）18日（日）

場所：東北大学医学部、東北大学病院

<http://www.med.tohoku.ac.jp/access/>

メインテーマ：保健医療福祉のヒューマンリソース

大会長：朝倉 京子（東北大学大学院医学系研究科）

大会ホームページ：<http://square.umin.ac.jp/medsocio/conf2014/index.html>

大会事務局：東北大学大学院医学系研究科看護教育・管理学分野内

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1

E-mail [jsmhs40@nem.med.tohoku.ac.jp](mailto:jsmhs40@nem.med.tohoku.ac.jp)

事務局長：佐藤みほ

### 2. 2 大会スケジュール

大会のスケジュールを大会ホームページにアップしました。

<http://square.umin.ac.jp/medsocio/conf2014/document/schedule.pdf>

### 2. 3 参加者へのお知らせ

参加者へのお知らせを大会ホームページにアップしました。

<http://square.umin.ac.jp/medsocio/conf2014/sanka.html>

### 2. 4 懇親会のご案内

大会と同日に開催される仙台・青葉まつりを皆様にお楽しみいただけるよう、青葉まつり会場近くのアットホームなレストランで大会の懇親会を開催いたします。日頃、懇親会にはご縁がないと思われるお若い先生方にもぜひご参加いただければ幸いです。皆様のお越しをお待ちしております。

日時：5月17日（土）18：45～

場所：ラ・サルテン

仙台市青葉区大町 2-6-3 錦戸ビル 1階：TEL 050-5798-3503

参加費：5000 円

・参加される方は、当日の総合受付で申し込んでください。

・直接会場においでの方も受け付けできますが、なるべく事前に申し込んでいただき

ますようご協力をお願いします。

2. 5 抄録集の送付について

会員の皆様には、4月末までに抄録集をお届けできるよう準備を進めております。

3. 第41回(2015年度)大会開催日程・準備について(三井理事)

法政大学多摩キャンパス(町田市)にて開催の予定で準備を進めている。

4. 第42回(2016年度)大会開催校について(黒田会長)

これは2015年度大会総会の審議事項であり、そこでの承認をもって学会として公式に決定という運びとなりますが、目下のところ、追手門学院大学社会学部の蘭由岐子教授より大会長引受の内諾を得ていることをお知らせしておきます。

5. 園田賞(学会奨励賞)候補について(木下理事・進藤理事)

選考委員会で受賞者の選考が行われ、その経過および結果が理事会に報告され、承認された。

6. 編集委員会報告(小澤理事・朝倉理事)

第25巻1号の内容について、近年の保健医療社会学の分野別の研究動向の特集を検討し、各分野別に執筆者に依頼した。献本に関する書評は次回の編集委員会で書評担当者を検討することとした。2014年度の第1回編集委員会は4月13日に開催することとした。

7. 定例研究会の報告、企画について(関東)(木下理事・清水理事)

7. 1 報告

平成25年度第2回定例研究会(関東)

日時:平成26年2月22日(土)14:00~16:00

場所:首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス会議室 A・B

報告者:堀田聰子先生(労働政策研究・研究機構:研究員)

タイトル:地域包括ケアの担い手を考える

堀田先生は公共政策科学の視点から、国などが実施する様々な調査研究に関わられており、多くの調査結果を基に以下の7点について報告がなされた。1. 介護労働市場と介護労働力需要、2. 介護職をめぐる政策の変遷、3. 採用・離職と過不足感をめぐって、4. 介護職員のストレス軽減と雇用管理、5. 人材確保・定着とワーク・ライフ・バランス、6. 諸外国におけるケアの担い手をめぐる政策・研究の動向、7. 地域包括ケアのまちづくりに向けて。

特に介護職の離職率やその理由は常勤・非常勤、施設・非施設によって異なっていることや、地域社会に開かれた事業所であることが職員の質・量の確保につながる可能性があるといった指摘は、社会学的な視座からも研究の蓄積が求められる内容であった。

報告後10名程度の参加者との質疑応答、自由討議が行われ、対人サービス職間での人材移動を容易にするシステムや、地域包括ケアにおける地域の看護力(機能)を

高める方策について意見交換がなされた。

#### 7. 2 平成 26 年度の計画

平成 26 年度も 2 回の定例研究会の実施を検討しているが、詳細は未定である。

(文責：清水準一)

### 8. 定例研究会の報告、企画について(関西)(進藤理事・林理事)

#### 8. 1 報告

平成 25 年度第 2 回定例研究会 (関西)

日時：平成 26 年 2 月 1 日 (土) 13:30～16:30

場所：大阪市立大学梅田キャンパス (駅前第 2 ビル 6 階 文化交流センター)

報告者：村上靖彦先生 (大阪大学)

タイトル：精神科看護師の語りを通じた現象学的研究

村上先生は現象学の視点から看護実践を分析されてきた。当日は、近著の『摘便とお花見』を踏まえながら、現象学的分析の方法論的特質、そして現在進めておられる単科精神病棟の看護師の語りの分析についての報告がなされた。

一見すると意味をなさなかに見える「ノイズ」や「シグナル」を手掛かりに、そこに「モチーフ」(＜意味のある＞要素)を読み取り、モチーフ間の布置に語り手の意図を超えた構造を見出していくプロセスは刺激的で興味深いものであった。同時に、この分析それ自体が一つの「ナラティブ」を構成しうるものであり、それゆえ語り手への「カウンセリング」効果を持つという印象も抱かされた。

研究会には 38 名の参加があり、予備の椅子とプリントアウトを用意する必要があったほどの盛会であった。報告後、参加者との質疑応答、自由討議が行われ、方法論的問題に関する質疑、個別のトピックをめぐる解釈等について活発な意見交換がなされた。

#### 8. 2 平成 26 年度の計画

平成 26 年度も 2 回の定例研究会の実施を検討しているが、詳細は未定である。

(文責：進藤雄三)

### 9. 看護・ケア研究部会 (三井理事)

#### 9. 1 研究活動報告

＜報告：看護・ケア研究部会：2013 年度 第 5 回定例研究会＞

2013 年度第 5 回定例研究会が、3 月 22 日に東京女子医科大学河田町キャンパスで開催され、白瀬由美香さん(国立社会保障・人口問題研究所)が「ケアの質をめぐる政策と従事者の専門性」について報告しました。報告要旨は次の通りです。本報告は、イギリス医療における事例をもとに、ケアの質を保証するための政策と従事者の専門性のありようとの関係性を探ろうとした。イギリスは租税を財源として、予算の枠内でサービス供給をする医療システムであることから、ともするとサービスが過小になりやすく、一定水準のケアの質を保つための多様な方策が講じられている。したがって、イギリスの事例は公的サービスとしてのケアの質の保証する政策の一つの極を表すものとして位置づけることができる。具体例として、受診までの待機期間の目標設定、成果に基づく診療報酬や施設基準の策定、専門職免許の更新制、診療ガイドライ

ンの導入などが紹介された。こうした諸施策によって形成される医師や看護師の行動規範や両者の関係性、専門職として求められる資質等に関して報告者から論点が提示され、伝統的専門職論とイギリスの現状との違い、ケアサービス全体における公共部門と民間部門の占める比重に関する日英比較などに関して議論がなされた。

9. 2 看護・ケア研究部会：2014年度 部会総会

日 時：5月18日(日) 12:20~13:00

場 所：東北大学 星陵キャンパス

議 題：2013年度会計報告、2014年度活動計画案、新役員紹介等

※昼休みの時間帯に開催いたしますので、各自、昼食をご持参ください。

看護・ケア研究部会問合せ先: 事務局 本多康生 yasuhonda@fukuoka-u.ac.jp

(看護・ケア研究部会長：三井 さよ)

10. 渉外国際活動 (金子理事)

10. 1 第18回世界社会学会議横浜大会について

国際社会学会 (ISA) の横浜大会 (第18回世界社会学会議) が、2014年7月13~19日にパシフィコ横浜で開催されます。世界の社会学者と交流を深める良い機会ですので、会員の皆様は奮ってご参加ください。詳細についてはISAウェブサイトの横浜大会ページ (下記) などをご確認ください。また、本学会ウェブサイトのISA横浜大会ページにも関連情報を掲載しています。

- ISAウェブサイト <http://www.isa-sociology.org/congress2014/>

10. 2 国際交流の進展について

国際交流委員会では、諸外国の医療社会学者たちとの交流を深める方策を検討しています。

11. 旧年度決算と来年度予算案について (三井理事)

理事会にて予算執行状況と来年度予算案が報告された。詳しくは総会で報告される。

12. 消費税増税に伴う論集の販売価格について (三井理事)

次年度も販売価格に変更しないこととなった。

13. 次年度契約書案について (事務局)

事務局より次年度の契約書案について公文書発行について追加の申請があり、2014年3月29日開催の第4回理事会において承認された。

14. 2014年度評議員会の議題について (黒田会長)

「1. 学会長からの御挨拶」で述べました学会の課題のいくつかを2014年度大会時評議員会の審議事項とし、評議員の方々から意見聴取をする予定です。審議事項については、評議員会メーリングリストを通して、評議員の方々には事前通知の予定です。

## 15. 入退会者の承認

3月27日時点で新入会者26名、退会者30名、資格停止予定者9名である。詳細は総会において発表する予定である。

## 16. その他

日本保健医療社会学会ニューズレター (No.93) をお送りします。このニューズレターの内容は2014年3月27日(木)に開催された第4回理事会の議事内容とほぼ重なっておりますので、理事会の議事報告の内容に準拠したものになっています。

日本保健医療社会学会ニューズレターは第92号からはpdfファイルのメールマガジン形式で配信しています。もしメールマガジンの文字が読めない場合などの受信に問題がある場合は、恐れ入りますが、日本保健医療社会学会事務局(下記)まで御連絡ください。また、学会に関するもうひとつの総合的な広報通信媒体としてウェブページがあります。下記のURLを直接入力するか、グーグルなどの検索サイトで「日本保健医療社会学会」と入力してください。

<http://square.umin.ac.jp/medsocio/index.htm>

発行：日本保健医療社会学会

編集：会報広報担当(池田光穂)・(株)国際文献社

学会事務局：

東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

[jshms-office@bunken.co.jp](mailto:jshms-office@bunken.co.jp)

03(5389)0237